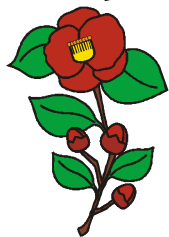




今年も魅力ある例会作品
が続々と登場します...
こんな時代だからこそ、
演劇の感動と
楽しさを感じ



て、心豊かにすごしてい
きましょう...



『夢千代日記』は、誘った人も、
誘われた人も喜ばれる作品です！
身近な場所で、演劇を観られる喜び
楽しさを、ぜひ廻りの人たちに声を
掛け、えんかんの輪を広げましょう！

この楽しさが広がる年にしていきましょ！

今年最初の例会は、創立81周年を迎え、昨
年の『あなまどい』で夫婦愛を伝えてくれた、
劇団前進座による『夢千代日記』です。
この原作は、NHKドラマとして1981年
〜84年にかけて放映されたドラマ史に残る
作品で、多くの視聴者が感動したそうです。
今回の舞台は、2010年に、被曝65周年、
前進座創立80周年を記念して、原作者の快諾
を得て、台本・演出・主役とも前進座の手で劇
化しました。夢千代には、『法然と親鸞』で恵信
尼を好演した今村文美さん、その相手役の男に
高橋祐一郎さん、さらにいまむらいつみさんを
はじめとする座の女優陣が脇を固めます。
今年も色々な舞台との出会いが楽しみで
す。

厚木えんかん会員交流 ニュース オペラガラス

発行日 / 2013年1月18日(金)

編集・発行 厚木演劇鑑賞会運営委員会

〒243-0014 厚木市旭町 5-43-1 三橋ハークビル 305

TEL/046(228)9325 FAX/046(228)9349

e-mail:atsugi-enkan@ga2.so-net.ne.jp

http://www.enkan.org

第149回例会 劇団前進座公演 『夢千代日記』



作 / 早坂 暁 演出 / 志村智雄 ほか
出演 / 今村文美・高橋祐一郎
武井 茂・小林祥子 ほか

第28回定期総会を開催します！

厚木演劇鑑賞会第28回総会を下記の日時で開催します。総会
では、昨年度のまとめと、今年度の活動方針、決算予算を話し合
います。総会議案書は、『夢千代日記』の例会場で配付しますので
必ずお読み下さい。(決算予算書は総会時に配付)

また、お話し会として、9月例会『OH! マイママ』の制作・
小川浩さんを迎えて、演劇に関する素朴な疑問などに答えて頂き
ながら、気軽なお話し会を予定しています。サークルより複数で
参加し、総会を盛り上げていきましょう！

【日時】 3月16日(土)午後2時～5時(予定)

【会場】 厚木市文化会館・集会室(4階)

総会 / 2時～4時 お話し会 / 4時～5時

サークル代表者の皆様へ

代表者は同封の出席回答ハガキに出欠を記入して、
2月22日(金)必着でご投函下さい。

2013年度の会員証を発行します
・お名前、ご住所等の間違いがありました
ら事務局までご連絡下さい。
・会員証は、例会時の参加券忘れ、他会場
での観劇などで必要となります。
・会員証は、切り離して二つ折りにすると
カードサイズになりますので、お財布な
どに入れて携帯しておきましょう。

第148回例会・Eイコーン公演
 アンナ・カレーニチのこぼれ話
 運営サークルの皆様、お疲れさま！

12月1日(土) 厚木市文化会館での海老名鑑賞会との合同例会は、数日前に事務局長が、肺炎で急遽入院となり不安要素もありましたが、運営サークルの力で、無事開催することができました。

今回の運営サークルでは…

まず、7月27日のプレ顔合わせでスタートして9月4日、5日の第1回から、12月7日まで、5回の運営サークル会に集まりました。参加は、14サークル55名と未サークル8名でした。

例会の感想を交えての自己紹介から始まって、作品のこと、劇団のことを話し合い、役割分担して準備を進めました。年に一度の運営サークルでは、はじめにお話する方もいらっしゃいます。でも、例会作品の魅力や素晴らしさを語り合うと、一緒にこの作品を迎えているというつながりを実感します。この鑑賞会ならではの絆を大切にしていきたいものです。

自分のまわりの人たちに芝居の楽しさを伝えたいと思いつつ、なかなか形にできなくて…。今回の例会では退会数が多く、クリアできなかったことはとても残念な事でした。

でもあきらめないで、運営サークルを愉しみながら少しずつでも前に進めていかなければと感じているところです。

栗原小巻さんとともに、例会創りを…

11月7日には横須賀生涯学習センターで、栗原



小巻さんの講演会が開かれました。

舞台衣装は小巻さんの手作りでの用意されたことやこの舞台にかける並々ならぬ意欲、演劇鑑賞会に対する感謝の思いをお話いただきました。運営担当の顔あわせでも、小巻さんのことやこの作品への期待感などで話が盛り上がりしました。

今回は、平塚で舞台稽古を見学することもでき、厚木からも数名で参加しました。小巻さんが美しく、作品もとても素晴らしくて評判も上々の話を聞いて、わくわくして例会を迎えました。

また、搬出の時には、白いコート姿の小巻さんが舞台ワキからちょっとのぞいてくださったんですね。われわれにも細やかな気配りをしていただいていたこととしては得をした気分でした。

例会当日は、劇団との触れ合いが楽しみ…

当日、開演前の運営担当の顔合わせには、Eイコーン代表で、栗原小巻さんの実弟で、Eイコーンの作品の演出も手がける加来英治さんからご挨拶があり、この作品を大切にしたいと全国をまわっていらっしゃる意気込みが伺えました。トルストイの代表



作であるこの作品のアンナを演じる小巻さん。誇り高い美貌の貴婦人として、自滅していく悲劇を美しく哀れに、そして感情の振幅を力強いセリフで烈しく演じて素晴らしかったですね。

夫役の水水紘治さんは、退廃的な貴族像を寛容だったり狭量だったりする人間の二面性からいねいに演じておられ、惹きこまれました。

赤羽さん、寺田さん、西山さんと、厚木としては、馴染みのある方々が登場され、見応えのある舞台でした。

今回の小巻さんの姿が浮かび上がった素敵なポスターを厚木市内にも掲示しましたが、例会当日に、このポスターをきっかけに入会してくださった方がいらしたのは、うれしいことでした。

今ここでふんばらなくては…

運営サークルに参加して、作品のことや劇団の歴史などを語り合うことで、また新たな発見、出会いがあります。舞台装置の搬入、搬出を劇団の皆さんと協力して一緒に取り組んでいくというのも舞台を身近に感じられ、鑑賞会ならではの楽しさでしょう。一人でも多くの会員と繋がっていくことができればと思います。

残念ながら、前例会クリアはできませんでしたが、厚木でこれからも魅力あふれる作品に出会ってきたい、みんなで鑑賞会としての取り組みをさらに進めていきたいと願っています。

(運営担当サークル/なぎさ)

